

# 住み慣れた地域で認知症の本人と家族が、 安心して暮せるために

## 南部町に認知症連携担当者を配置しました

### 認知症と高齢社会

南部町では高齢化率が平成21年9月末現在で、29・25%となっており、「超高齢社会」を迎えています。この超高齢社会の課題のひとつで、老後の不安のひとつに「認知症」があげられます。

**認知症はめざらしくありません**  
認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気によるものです。85歳以上になると4人のうち1人に認知症の症状があらわれるといわれています。また、今後20年で倍増することも予想されています。

### 誰もが安心して暮らせるために

認知症になると、いろいろな原因で脳のはたらきが悪くなりさまざまな障害が起きてきます。そして、生

活するうえで支障が出てきて、それまでできていたことができなくなったりします。そのため、本人は大きな苦しみと悲しみを抱くことになり、サポートする家族にも多大な負担がかかることがあります。

しかし、地域のみなさんが認知症について正しい知識をもち、助けあうことができれば、認知症の人もその家族も穏やかに暮らすことができます。また、予防・早期発見することで発症・進行を防ぐことができます。南部町では、本人と家族が安心して暮せるよう支援を行っています。

### 認知症疾患医療センターを設置

西伯病院は、平成21年4月から国のモデル事業の認知症疾患医療センターとして、今まで以上に認知症に力を入れて取り組んでいます。

従来から、「もの忘れ外来」(毎週水曜日午後。要予約)を設置するなど先進的な取り組みをしていましたが、さらに認知症の鑑別診断・急性期対応・身体合併症の対応など、より専門的な支援の充実をはかっています。

### 認知症連携担当者を配置

相談支援体制を強化するため、西伯病院と健康福祉課(地域包括支援センター)の双方に、認知症連携担当者を配置し、次のような活動をしています。

### 健康福祉課の認知症

#### 連携担当者の主な業務内容

- ① 西伯病院との連携
- ② 町内の実態把握
- ③ 正しい知識について啓発普及
- ④ 予防・早期発見の推進 など

その他にも認知症に関する様々な

取り組みを計画しています。

\*認知症に対する身近な相談先  
地区担当保健師、かかりつけ医、西伯病院もの忘れ外来などににご相談ください。

また、町では認知症予防など介護予防教室も行っております。早めに対応することで発症・進行を遅らせることができる場合があります。

### 健康福祉課認知症連携担当者 頼田 佑子 (社会福祉士)

#### 地区担当保健師

担当地区	担当保健師	担当地区	担当保健師
東西町	前田 知子	上・東長田	いしづ口 妙子
天津	山根 奈生子	手間	前田 かおり
	すみ角 智美		ひつ櫃 だ田 明美
大 国	ひつ櫃 だ田 明美	賀 野	前田 知子
法勝寺	たて帯 わき刀 志織		

お問い合わせ先

南部町健康福祉課(南部町健康管理センター内)  
電話 66-5524・FAX 66-5523